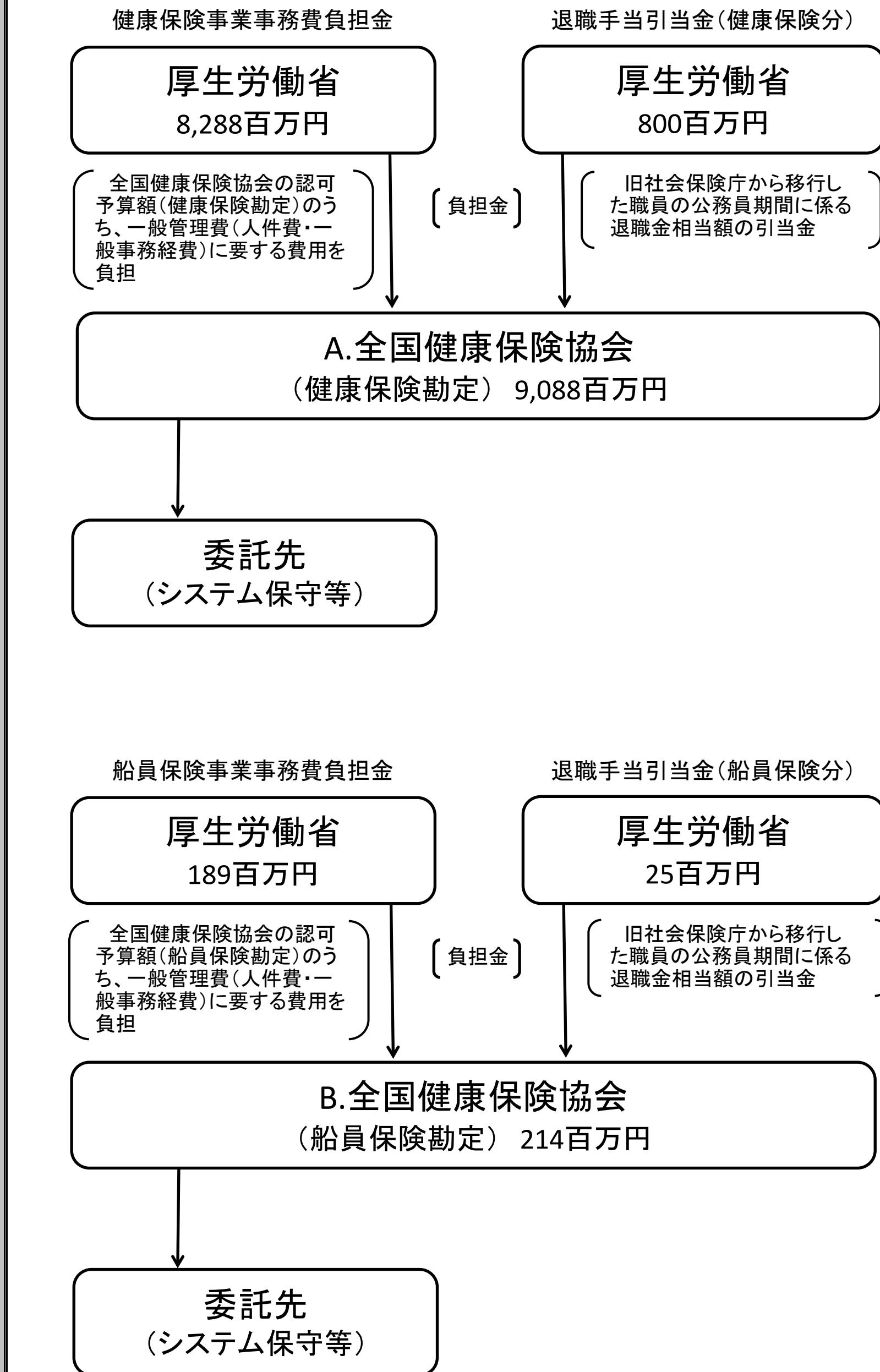


平成25年行政事業レビュー・シート (厚生労働省)

事業名	全国健康保険協会事務費負担金		担当部局庁	保険局	作成責任者					
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	保険課全国健康保険協会管理室	藤田 学					
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-9-1 適正かつ、安定的・効率的な医療保険制度を構築すること						
根拠法令(具体的な条項も記載)	健康保険法第151条、船員保険法第112条		関係する計画、通知等	平成25年度全国健康保険協会保険給付等国庫補助(負担)金交付要綱 (平成25年4月1日厚生労働省発保0401第2号)						
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	健康保険事業及び船員保険事業の事務の執行に要する費用を負担することにより、全国健康保険協会の円滑な事業運営に資する。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	①全国健康保険協会の健康保険事業の事務の執行に要する費用の負担金 ・全国健康保険協会の認可予算額(健康保険勘定)のうち、一般管理費(人件費・一般事務経費)に要する費用を負担 ②全国健康保険協会の船員保険事業の事務の執行に要する費用の負担金 ・全国健康保険協会の認可予算額(船員保険勘定)のうち、一般管理費(人件費・一般事務経費)に要する費用を負担 ③退職手当引当金 ・旧社会保険庁から移行した職員の公務員期間に係る退職金相当額の引当金									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求				
	当初予算	12,305	10,336	9,302	8,657	8,672				
	補正予算									
	繰越し等									
	計	12,305	10,336	9,302	8,657	8,672				
	執行額	12,305	10,336	9,302						
	執行率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)			
	事務費(実績)に対する事務費負担金割合		成果実績 %	51.5	42.9	39.0	23.3			
			達成度 %	-	-	-				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込			
	事務費の執行率(対予算)		活動実績 (当初見込み)	%	84.3	87.2	80.3	80.3		
単位当たりコスト	-		算出根拠	-						
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由						
	全国健康保険協会事務費負担金	8,657	8,672	全国健康保険協会発足時より財務省と相談のうえ決定していた退職者手当引当金が当初の予定どおり昨年度より増となつたことによる増。						
	計	8,657	8,672							

事業所管部局による点検							
	項目	評価	評価に関する説明				
国 必 要 投 入 の 性 能	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	健康保険事業及び船員保険事業の円滑な事業運営のための健康保険法に定める負担金であり、国が実施すべき事業である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	被用者保険のセーフティネットである協会けんぽの円滑な事業運営のための負担金であり、国が実施すべき事業である。				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—	—				
事業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	—	—				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—	—				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—	—				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—	—				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	全国健康保険協会の円滑な運営を図るため、人件費や消耗品等の事務費に充てられている。				
事業 の 有 効 性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—	—				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果のあるいは低コストで実施できているか。	—	—				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—	—				
重 複 排 除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—	—				
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	—				
	事業番号 類似事業名 所管府省・部局名						
点 検 結 果	負担金の交付先である全国健康保険協会においては、毎年前年の水準を下回ることを目標に一般事務経費の削減を行っている。 それに合わせ、事務費負担金についても、独立行政法人の経費削減方針に倣い、毎年削減を行っている。						
	外部有識者の所見						
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
事業 内 容 の 改 善	本事業については、健康保険事業及び船員保険事業の事務の執行に要する費用を負担することにより、全国健康保険協会の円滑な事業運営に資するものであり、事業の必要性や執行の観点からの評価は概ね妥当であるが、管理コスト等の見直しを行うよう努めること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
執 行 等 改 善	本事業については、全国健康保険協会における経費削減の努力が毎年継続的に行われることを前提に、毎年、前年度予算額から数%の減少を行っている(26年度については、退職する職員のための退職手当引当金を増加せざるを得なかつたための増)。国による負担を減らしつつも前項健康保険協会における事務費負担が過剰なものとならないよう、事業の妥当性を勘案のうえ、効率化が図られるよう指導監督を行う。						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年	255	平成23年	227				
		平成24年	194				

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.全国健康保険協会(健康保険勘定)			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	協会の役員、職員等に係る給与等	8,288			
	一般事務経費	リース費用(ハードウェア・ソフトウェア等)等				
	委託費	システム保守等				
	退職手当引当金	平成20年10月に旧社会保険庁から採用された職員に係る公務員時代の退職金相当額の引当金	800			
	計			9,088	計	0
	B.全国健康保険協会(船員保険勘定)			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	協会の役員、職員等に係る給与等	189			
	一般事務経費	リース費用(ハードウェア・ソフトウェア等)等				
	委託費	システム保守等				
	退職手当引当金	平成20年10月に旧社会保険庁から採用された職員に係る公務員時代の退職金相当額の引当金	25			
	計			214	計	0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国健康保険協会(健康保険勘定)	全国健康保険協会管掌健康保険事業を行う	9,088		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国健康保険協会(船員保険勘定)	船員保険事業を行う	214		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					